

# まちかど スナップ

3/19日

## 瀬戸市消防団深川分団詰所竣工式

瀬戸市消防団深川分団詰所の建替え工事完了にともない、竣工式が行われました。

建物には、鉄絵による「狛犬」「六角陶碑」「はしご乗り演技」を描いた陶板や織部釉の陶板タイルが装飾され、災害時にももとより平時にも消防団と地域が一体となって活動できる多目的会議室や非常電源、雨水タンクなどの機能が備えられました。

市長は挨拶で「地域の皆さまのコミュニティや防災力向上の拠点として活用していただきたい。」と話されました。



4/15±16日

## 陶祖まつり

第56回せと陶祖まつりが開催され、2日間にわたり多くの家族連れなどで賑わいました。

尾張瀬戸駅周辺ではせともの楽市や若手作家市が開かれ、たくさん人が思い思いに買い物を楽しんでいました。市外から来たという買い物客もおり、「陶器が好きなので初めて来ました。かわいらしいものもたくさんあり、とても楽しいです。」と語っていました。

16日(日)には陶祖・藤四郎をまつる陶彦社に「陶物」を献上する御物奉献行列が行われ、見物客であふれました。

また、道泉みこし祭りやJIMO婚・ZO婚こまいぬ道中では、深川神社や商店街に大きな歓声があがり、華やかに賑わっていました。



# 瀬戸の文化財 第17回

☎文化課 ☎84・1093

かわむらやてんぼ

## 川村屋店舗

▶昭和2(1927)年建造

▶栄町

瀬戸川にかかる記念橋の西隣には、かつて蔵所橋がありました(平成21年撤去)。その蔵所橋の北詰に、瀬戸川饅頭で知られる老舗の和菓子店舗、川村屋があります。屋号を川村屋賀栄といい、入母屋造、総2階建の店舗ですが、建物の階の高さは1階、2階ともに高く、1階軒には透かし彫りで立ちの大きな板暖簾を下げています。江戸時代や明治期のものに比べ、2階の高さが高い店舗の外観で、尾張地区では大正・昭和期の建造物の特徴といえます。

陶器瓦の屋根の四方の隅棟には、それぞれ瓦人形が載っています。この4体の瓦人形は鐘馗さんで、中国の道教に由来する火除けや病気快癒の神様として知られ、建物を外部からの魔物や邪鬼から護るものです。



川村屋店舗